筑摩書房「ちくま文学講読　上級編」年間指導計画（シラバス）案

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科　目 | 単位数 | 指導学年 | 使用教科書・副教材等 |
| ― | ― | ○○科○学年○学級 | 筑摩書房『ちくま文学講読　上級編』 |

１　学習の到達目標等

|  |  |
| --- | --- |
| 学習の到達目標 | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。  (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。  (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。 |

２　評価の観点

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価の観点 | | |
| a ．知識・技能 | ｂ．思考力・判断力・表現力 | ｃ．主体的に学習に取り組む態度 |
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。 | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。 |

３　学習計画及び評価方法等

| 月 | 単元名 | 単元の目標 | 学習内容（教材） | 配当時間 | 学習活動 | 評価基準・評価方法 | 評価の方法 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| a 　（知識・技能）  ｂ　（思考力・判断力・表現力）　A書くこと・B読むこと  ｃ　（主体的に学習に取り組む態度） |
| ４ | はじめに |  | ニワシドリの庭 |  | ①Ｅ．サティの曲や、コウノトリといった具体例から筆者が考えたことをまとめてみる。  ②「自然文化論」とはどのようなものか考える。 | 関　教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　Ｅ．サティや、コウノトリなど文中の具体例について資料を収集し、自分なりの「自然文化論」をまとめることができるか。〈課題提出〉  読　「文化と自然」という概念について、論理的に筆者の話を逐うだけでなく、自らの考えを深めることができているか。〈発問・ノートへの記入〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味・用法を理解し、表現上の特色をとらえているか。〈プリント・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| 4 | 小説一 |  | 山月記 |  | ①小説を読み、自分なりの印象をまとめて表現してみる。  ②李徴の話を部分に分けて読み、「変身」をめぐる彼の考えや心情を的確に理解し、まとめる。  ③班に分かれて話し合い学習を行い、その中で「登場人物」「場面」「印象的な部分やことば」に分けて、読みを深める。  ④『人虎伝』を初めとする古今の変身譚を併せ読むことで作品への理解を深める。 | 関　日本の近代小説や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　李徴の人物像についてまとめることができるか。〈ノートへの記入〉／李徴が虎になった理由として李徴が考えたことを順を追ってまとめることができるか。〈ノートへの記入〉／李徴の詩について袁慘が「どこか欠けるところがあるのではないか」と感じた理由を、詩を手がかりにして考え、二百字程度でまとめることができるか。〈ノートへの記入〉／様々な変身譚（『変身』カフカなど）と併せ読むことで『山月記』という作品の特徴をまとめることができるか。〈プリント〉  読　「臆病な自尊心と、尊大な羞恥心」という表現を用いた理由について理解しているか〈発問・定期考査〉／「人間は誰でも猛獣使いであり、その猛獣にあたるのが、各人の性情だ」という表現の内容について理解しているか。〈発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／難解な語句の意味を文脈に即して理解し、漢文訓読調の文体の特徴をとらえ味わうことができるか。〈発問・課題提出〉／中島敦とその作品に関して理解しているか。〈発問・課題提出〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ５ | 小説一 |  | ベル・エポック |  | ①登場人物の心情とその移り変わりを会話や行動の描写を通して把握する。  ②現代の小説に多く見られる人間関係の希薄さや、孤独感などがこの作品ではどのように表されているかを考える。 | 関　教材の内容や、作者に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　ストーリーを要約できるか。〈発問・ノートへの記入〉／「みちかちゃんは実家には帰らない」と「私」が思った理由について、自分の考えを整理することができるか。〈ノートへの記入・定期考査〉  読　「私」とみちかとの間に起きた出来事を、時系列に沿って整理できるか。〈発問・定期考査〉／「頼りなげな裏切り」とはどのようなことかを的確に理解しているか。〈発問・定期考査〉／「残酷なくらいいい天気だった」「みちかちゃんの匂いも、誠さんの匂いも、ゆっくりこの部屋から抜けて空に昇っていくんだろう」という表現にはどのような効果があるかを理解しているか。〈発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ５ | 小説一 |  | 奉教人の死 |  | ①小説の舞台となった場所や時代背景を理解する。  ②「ろおれんぞ」のたどった運命を整理する。  ③冒頭の詩の引用や、「一」と「二」の二部に分かれている構成が作品全体にどのような効果をもたらしているか、考える。 | 関　教材の内容や、作者に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　ストーリーを要約できるか。〈発問・ノートへの記入〉〈ノートへの記入・定期考査〉  読　「ろおれんぞ」と、その周囲に起きた出来事を、時系列に沿って整理できるか。〈発問・定期考査〉／「ろおれんぞ」の死に際して「さんた・るちや」の人々が「ことごとく『ろおれんぞ』の前にひざまずいた」のはなぜか、理解しているか。〈発問・定期考査〉／冒頭の詩の引用や、「一」と「二」の二部に分かれている構成が、作品全体にどのような効果をもたらしているかの分析を通じて、小説の技法についての理解を深めることができているか。〈発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ６ | 評論・随想一 |  | 知識の扉 |  | ①文字と身体の関係について考える。  ②高度情報化社会を生きる人間にとって情報とは何かを考える。 | 関　現代のさまざまなメディアに関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　文字を伝達するメディアが時代によってどのように変化したかを整理することができるか。〈ノートへの記入〉  読　文字と身体の関係性について、筆者の考え衣を理解しているか。〈発問・ノートへの記入〉／「意識と物質の相互作用」という表現が意味することについて理解しているか。〈定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味・用法を理解し、表現上の特色をとらえているか。〈プリント・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ６ | 評論・随想一 |  | 鈴虫の間、ぼくの六畳間 |  | ①英語を母語とするアメリカで生まれた筆者の日本語による随想を読んで、表現描写や筆者の感受性を味わう。  ②日本やそれ以外の文化を見渡し、「間」という概念について考える。 | 関　筆者や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　この随想を四つの部分に分け、それぞれの内容をまとめることができるか。〈発問・ノートへの記入〉／筆者の考え方に対し、自分の考えをまとめることができるか。〈ノートへの記入〉／「イメチェン」の過程を整理することができるか。〈発問・ノートへの記入〉  読　「そう聞こえる」とは、何が、どのように聞こえることかを理解しているか。〈発問・定期考査〉／筆者の言う「ぼく独特の間」とはどのようなものかを理解しているか。〈発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉／「間」のつく慣用句の意味を確認し、短文を作ることができるか。〈発問・授業時の活動〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・提出物 |
| ７ | 評論・随想一 |  | ささやかな時計の死 |  | ①時計のねじを巻くという行為についての筆者の思いを読み取る。  ②「ある日を境にして」時計はどのように変わったのか、また、そこに筆者は何を感じているのかを読み取る。  ③「亡くなった」「彼女」は、筆者にとってどのような存在だったのかを読み取る。  ④電池時計の死について書かれた前段と、「彼女」の死について書かれた後段の構成に注意しながら、「彼女」の突然の死と、「彼女」からもらった時計の「突然の死」の符合によって筆者が感じた冷たく重い「死」の喪失感を読み取る。 | 関　筆者や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　この文章を読んで感じたことをまとめることができるか。〈ノートへの記入〉  読　時計のねじを巻くことについての筆者の思いを読み取ることができるか。〈発問・定期考査〉／「ある日を境にして」時計はどのように変わったのか、またそこに筆者は何を感じているのかを読み取ることができるか。〈発問・定期考査〉／「彼女」の突然の死と、「彼女」からもらった時計の「突然の死」との符合から筆者が感じた「死」の喪失感を読み取ることができるか。〈発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉／村上春樹の他の作品やテーマについて理解を深めることができるか。〈発問・ノート〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ７ | 小説二 |  | 神様 |  | ①未知の相手と出会うとき、先入観や固定観念、他からの情報がどのように働いているのか考える。  ②「くま」ということばが示す現実と虚構の二面性（野獣＝凶暴・メルヘン＝愛玩、などの異なる世界観）が読み手にとってどのように変容していくのかを確認する。  ③「くま」との一日は「わたし」にとってどのような一日だったのか、また題名「神様」の意味について考える。 | 関　日本の現代小説や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　「くま」の気配りと、「わたし」がそれをどのように受け止めているかを、全体を通して的確にまとめることができるか。〈ノートへの記入・定期考査〉  読　非現実な虚構を描くことが現実に迫っていることに気付いたか。〈発問〉／「わたし」（人間）と「くま」という奇妙な組み合わせが示す現実と虚構の世界の展開を的確に理解しているか。〈発問・定期考査〉／「くま」との一日は「わたし」にとってどのような一日だったかを的確に理解しているか。〈発問・定期考査〉／「くま」の表記が「熊」「クマ」ではなく、ひらがなになっていること、題名「神様」の意味について的確に把握しているか。〈発問・意見交換・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉／小説にはさまざまなスタイルがあることを理解しているか。〈発問〉／小説の語りと空白について理解しているか。〈発問・プリント〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ８ | 小説二 |  | こころ |  | ①小説の登場人物やストーリーを把握し、場面ごとの描写から人物の心情を読み取る。  ②「Ｋ」の告白を聞いた時の「私」の心情を読み取り、次第に「Ｋ」を「魔物」のように意識していく「私」の心の推移を読み取る。  ③「精神的に向上心のないものはばかだ」ということばを「Ｋ」に投げつけた「私」の意図を読み取る。  ④「Ｋ」の「覚悟」ということばを「私」はどのように解釈し、どのような行動に出たかを読み取る。  ⑤「Ｋ」の自殺に直面した「私」の心の動きと良心の呵責を読み取る。  ⑥夏目漱石の文学・思想について理解を深める。 | 関　夏目漱石や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　「私」と「Ｋ」それぞれの性格をまとめることができるか。〈ノートへの記入〉／「Ｋ」の自殺の理由と「私」の良心の呵責について自分の考えをまとめることができるか。〈ノートへの記入〉／夏目漱石が描いた人間の「こころ」について自分の考えをまとめることができるか。〈ノートへの記入〉  読　「Ｋ」の告白を聞いた時の「私」の心理と、次第に「Ｋ」を「魔物」のように意識していく「私」の心の推移を読み取ることができるか。〈発問・定期考査〉／「Ｋ」の「覚悟」ということばを「私」はどのように解釈し、どのような行動に出たかを読み取ることができるか。〈発問・定期考査〉／「Ｋ」の自殺に直面した「私」の心の動きを読み取ることができるか。〈発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉／夏目漱石の代表的な作品やその思想について理解しているか。〈発問・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ９ | 詩歌 |  | 永訣の朝 |  | ①それぞれの詩について自分なりの印象をまとめ表現してみる。  ②それぞれの詩の情景を読み解き、また表現上の特徴や工夫についてまとめてみる。  ③気に入った詩人について調べ、その結果をまとめて発表する。 | 関　近代詩や、詩人・教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／詩人の他の作品など、積極的に鑑賞する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  書　詩の情景をまとめたり、自分なりの感想をまとめるたりすることができるか。〈ノート・プリント〉  読　二つの詩を読み比べてみることによって、表現技法の違いを指摘し、読解を深めることができるか。〈プリント・発問〉  知　宮澤賢治と石垣りんについて、それぞれ文学史的背景などを調べ、まとめたり発表したりすることができるか。〈課題提出〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査  授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ９ | 詩歌 |  | 旅情 |  |
| ９ | 詩歌 |  | 死にたまふ母 |  | ①連作短歌という形式で、筆者がどのようなことを表現しようとしているかを考える。  ②それぞれの歌の情景や風景を想像し、表現上の効果について考える。  ③連作短歌という形式の作品を鑑賞した体験を通して、表現の活用について考える。 | 関　斎藤茂吉や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／斎藤茂吉の他の作品などを積極的に鑑賞する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  書　三首連作という形式で連作形式の短歌を自分で作ったり、三人一組になって共同で連作を作ったりすることができるか。〈創作・授業中の活動〉  読　「母」をテーマにした様々な文章を読み比べ、味わうことで、作品への理解を深めることができるか。〈発問・授業中の反応〉  知　斎藤茂吉について調べ、近代短歌の歴史と斎藤茂吉の短歌の位置づけについて学ぶことができるか。〈プリント、調べ学習〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| 9 | 詩歌 |  | 俳句 |  | ①季語や切れ字など、俳句独特の表現技法について学ぶ。  ②俳人について調べ、併せてそれぞれの句の情景を読み解き、自らの表現に役立てる。 | 関　教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　気に入ったいくつかの句について、様々な観点から自らの感動を可能な限り論理的なことばに置きかえて鑑賞文を書くことができるか。また、同じ句を取り上げた他の生徒が見過ごしたその句の魅力を発見することができるか。〈課題提出〉  読　多くの近代俳句を読み比べ、情景をとらえる作業を通して、自然や人生に対する考えを深めることができるか。〈発問・授業時の反応〉  知　既習の短歌作品と比較することによって、二つのジャンルの性格や表現の違いを理解し、鑑賞を深めることができるか。〈発問・授業時の反応〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| １０ | 小説三 |  | 舞姫 |  | ①本文を黙読し、また音読し、語句の意味を確認するとともに、文体や表現上の特徴を理解する。  ②『舞姫』という作品全体を通して、近代という時代や、人間の生き方について知識を広げ、考えを深める。  ③視点・立場、またプロットを変えたとき、物語全体がどう変化するかを考察し、自らの表現に役立てる。 | 関　森鷗外や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／作者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  書　『舞姫』に関する論考（前田愛『ベルリン1888――「舞姫」』（『都市空間の中の文学』）」など）を参考に、近代という時代や人間の生き方について知識を深め、自らに引き寄せて考察しまとめることができるか。〈プリント・発問〉  読　作品を通読して全体を味わうとともに、個々の情景を的確にとらえ、表現を味わうことができているか。〈発問・授業時の反応〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉／夏目漱石の代表的な作品やその思想について理解しているか。〈発問・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| １０ | 小説三 |  | 水仙 |  | ①太宰治について、その文体の特色や、文学史的知識を学ぶ。  ②場面ごとに分け、それぞれの場面の内容をまとめる。  ③作者の「芸術」に対する考え方を理解させる。  ④特別な「天才」の苦悩としてではなく、「各人の本分」という学習者自身の問題として作品を読み解かせる。 | 関　太宰治や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／作者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  書　場面ごとに小見出しをつけることができるか。〈ノートへの記入〉。  読　「ひねこびた自尊心」とはどのようなものか理解しているか。〈発問・定期考査〉／「僕」が「信じている一事」とはどのようなことか理解しているか。〈発問・定期考査〉／静子夫人の絵を「僕」が引き裂いたのはなぜか理解しているか。〈発問・授業時の活動〉／作者にとって芸術とはどのようなことか、読み取ることができたか。〈発問・授業時の活動〉／「天才の煩悶と、深い祈り」「自分の才能・本分とは何か」という普遍的な問いとして受け止め、自身や身近な人々を例に考えることができるか。〈発問・授業時の活動〉  知　太宰治とその作品に関して理解しているか。〈発問・課題提出〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| １１ | 評論・随想二 |  | 陰翳礼讃 |  | ①「陰翳」が生み出す文化についての筆者の主張を理解する。  ②表現上の特色について、それが筆者の主張をどのように補強しているかを学ぶ。  ③テキスト以外の様々な「日本文化論」を探して読み、比較する。 | 関　谷崎潤一郎や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／筆者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  書　内容の要約や、自分なりのまとめを行うことができるか。〈ノート・プリント〉  読　坂口安吾『日本文化私観』や、加藤周一『雑種文化』『日本人とは何か』、山崎正和『日本文化と個人主義』、網野義彦『日本論の視座』など、他の様々な日本文化論と比較し、作品の読みを深めたり、人間や社会・文化について自分なりに考えたりすることができるか。〈プリント・発問〉  知　特に筆者独特の表現と思われる箇所を抜き出し、その意味を確認するとともに、その表現効果について理解することができるか。〈ノート・発問〉／谷崎潤一郎とその作品に関して理解しているか。〈発問・課題提出〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| 1１ | 評論・随想二 |  | 無常ということ |  | ①本文の論理展開を逐い、論理の飛躍や、それがどのように絡み合っていくのか、筆者の自在な語り口に気づく。  ②古典によって現代の感覚や考え方を捉え直す筆者の発想を学ぶ。  ③近代主義（既習）について復習し、筆者による近代主義批判の要点を「歴史」という概念を中心に整理する。 | 関　小林秀雄や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／筆者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  書　授業時に使用したいくつかの資料について、図書室などで実際に原典にあたり、内容をまとめて報告文を作成したり、紹介したりすることができるか。〈授業時の活動・課題提出・課題発表〉  読　実際に引用された古典や、鷗外の史伝、歴史・哲学や、時間論について書かれた文章、また筆者の別の文章などを併せ読み、ものの見方・考え方を深めることができるか。〈発問・授業時の反応〉  知　語句の意味・用法を理解しているか。〈プリント・小テスト〉／筆者独特の比喩や対比表現の効果を理解し、読みを深めることができるか。〈プリント・ノート〉／小林秀雄とその作品に関して理解しているか。〈発問・課題提出〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| １２ | 評論・随想二 |  | 小説とは何か |  | ①筆者について調べ、「小説」についての筆者の考えをまとめてみる。  ②柳田國男や「遠野物語」について調べ、整理する。 | 関　三島由紀夫や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／作者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  書　三島由紀夫の『金閣寺』を読んで四百字程度の感想をまとめることができるか。〈課題提出〉  読　筆者の述べる「小説」の定義を理解しているか。〈ノートへの記入・プリント〉  知　語句の意味・用法を理解しているか。〈プリント・小テスト〉／三島由紀夫とその作品に関して理解しているか。〈発問・課題提出〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| １ | 小説四 |  | 砂の本 |  | ①幻想的で不思議な設定の小説から、語りの技法や小説の魅力を味わう。  ②海外文学・翻訳文学に興味関心をもち、国文学と海外文学を比較したり、複数の訳者による同一作品の翻訳を読んだりして、文学への理解を深める。 | 関　翻訳文学や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　「砂の本」の象徴的な意味を二百字程度にまとめることができるか。〈プリント・ノートへの記入〉／ボルヘスの他の作品を読んで四百字程度の感想文にまとめることができるか。〈課題提出〉  読　「砂の本」に対する「わたし」の心情の変化をまとめることができるか。〈発問・定期考査〉／なぜ「わたし」は「砂の本」を「怪物」と感じ、自分から遠ざけたのか、考察することができるか。〈発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| １ | 小説四 |  | 押し絵と旅する男 |  | ①レンズを備えたカメラという視覚装置の持つ近代的意味を理解し、作品のモチーフに対する様々なアプローチの仕方を知る。  ②情景をとらえ、物語を味わうとともに、一人称の語りの構造や、幻想文学的な表現の特色について考察する。  ③小説の前半部分や、他の幻想的な文学作品を併せ読み、自らの表現の可能性を広げる。 | 関　江戸川乱歩や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／作者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  書　幻想的な短編一作をとりあげ、輪読形式などで感想を述べ合う読書会を開いてみたり、同じテーマで実際に幻想的な掌編を創作し、批評しあったりすることができるか。〈話し合い学習・創作〉  読　小説の前半部分を読んで、作品全体について読みを深め、「幻想文学」と目される作品をいくつか比較して読むことで、表現の可能性について考えを深めることができるか。〈発問・課題提出〉  知　古今東西の「幻想文学」についてテーマや作家を決めて、紹介文を書いたり発表したりできるか。〈課題発表〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| １ | 小説四 |  | 胡桃割り |  | ①「僕」の精神的な成長の過程を、胡桃を割れなかった時と割れた時との対照から説明する。 ②胡桃を割る音に託されているものを考察する。 ③作中の家族のあり方と現代のそれとの相違点、さらにはその底に流れる共通点について考える。 | 関　教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　物語を時系列に沿って整理することができるか。〈ノートへの記入〉  読　「僕」の心情の変化を描くうえで、「胡桃を割ること」がどのような効果をもたらしているか、理解しているか。〈発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ２ | 評論・随想三 |  | 漫罵 |  | ①本文を黙読し、また音読し、語句の意味を確認するとともに、漢文訓読体の文学の鑑賞眼を養う。  ②作者の鋭い文明批評を通じて、自分たちの社会のあり方や芸術の役割を考える。 | 関　北村透谷や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／作者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  書　夏目漱石「こころ」「現代日本の開化」などを参考に、近代という時代や人間の生き方について知識を深め、自らに引き寄せて考察しまとめることができるか。〈プリント・発問〉  読　開化期の日本社会に対する筆者の批判と、詩や文学の果たすべき使命についての筆者の考え方を理解しているか。〈発問・授業時の反応〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉／ | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・提出物 |
| ２ | 評論・随想三 |  | エクソフォニー |  | ①「母語」「多言語社会」などについて理解する。  ②「多言語社会」の問題点を明らかにして、「多言語」に「可能性」を見たいという筆者の考えを理解する。 | 関　教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／母語である「日本語」以外の言語に関心を持っているか。〈発問・授業時の態度〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　「言語」に対する筆者の考えをまとめ、それに対する自分の考えを整理することができるか。〈ノートへの記入〉  読　「多言語社会」の問題点や可能性について的確に読み取っているか。〈発問・定期考査〉／作者の考え方を正確に読み取っているか。〈発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉／キーワード「多言語社会」について理解しているか。〈発問・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ２ | 評論・随想三 |  | 文学のふるさと |  | ①「モラル」「ふるさと」など、筆者によって定義される用語の内容を文脈に即して理解する。  ②筆者のあげる具体例について、原典を参照して筆者の論証を検証し、筆者の他の評論を読むことで読みを深める。  ③人間の生や文学のあるべき姿についての筆者の考えを理解し、それに対して自分の考えを深めていく姿勢を養う。 | 関　坂口安吾や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／筆者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  書　『赤頭巾』や『伊勢物語』を参照し、実際に自分が感じたことをまとめることができるか。〈プリント〉  読　（以前にもとりあげた）筆者の『日本文化私観』や、戦後の『堕落論』などを併せ読み、文学観・芸術観・人生観について考えを深めることができるか。〈発問・授業時の反応〉  知　比喩・逆説的な言い回しなど、表現上の特色を読み味わい、自らの表現に役立てることができるか。〈ノート・授業時の活動〉／坂口安吾とその作品に関して理解しているか。〈発問・課題提出〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ３ | 小説五 |  | オデュッセイア |  | ①「ココロコ」がたどった旅路を、「ココロコ」の心情の変化と、そのたびに訪れる新しい自覚を跡づけながら読み取る。  ②旅の中で「ココロコ」と人間の関係はどのように推移していったかを読み取る。  ③「ココロコ」がたどった旅路が、人類のどのような「歴史」と未来を語っているかを読み取る。  ④省略の多い叙事風の文体がどのような効果をあげているかを考える。 | 書　この物語の持つメッセージについて自分の考えをまとめることができるか。〈ノートへの記入・定期考査〉  読　「ココロコ」がたどった旅路を、「ココロコ」の心情の変化と、そのたびに訪れる新しい自覚を跡づけながら読み取ることができるか。〈発問・定期考査〉／旅の中で「ココロコ」と人間の関係がどのように推移していったかを読み取ることができるか。（発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ３ | 小説五 |  | 砲撃のあとで |  | ①小説の舞台となった場所や時代背景を理解する。  ②作品全体の構成を理解する。  ③迫りくる戦争の気配におびえる大人たちと、その混乱がもたらす「夜景」の美しさが、「少年」の目を通して多角的に描かれていることを理解する。 | 関　教材の内容や、作者に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉  書　作品全体を四段落に分け、その構成を整理できるか。〈発問・ノートへの記入〉〈ノートへの記入・定期考査〉  読　「少年」の家族それぞれの心情の動きを読み取ることができるか。〈発問・定期考査〉／「拳で汗をぬぐいながら夜景をじっと見つめていた」少年の心情を理解することができているか。〈発問・定期考査〉  知　全文を正しく音読できるか。〈指名読み〉／語句の意味や用法を理解しているか。〈発問・小テスト〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |
| ３ | 小説五 |  | 藤野先生 |  | ①作品の時代状況や社会状況をまとめ、その背景を考えて読み味わう。  ②藤野先生の人物像についてまとめ、作者にとって藤野先生がどのような存在だったかを作品に基づいて読み解いてみる。  ③「学ぶこと」「書くこと」「誠意を尽くすこと」などについて、自分なりに意見をまとめ、表現してみる。 | 関　魯迅や、教材の内容に関心を持っているか。〈発問・授業時の反応〉／範読・音読・指名読みの態度は積極的か。〈授業時の反応〉／作者の他の作品など、積極的に読書する姿勢を見せたか。〈課題提出〉  話　人物の心情や情景を把握して朗読することができるか。〈発問・授業時の活動〉／朗読を聞きながら情景を的確にとらえ、表現を味わうことができるか。〈発問・授業時の活動〉  書　作品を読んで考えたことを基にして、「学ぶこと」「書くこと」「誠意」などのテーマで六百～八百字程度の簡単な随想文を創作してみることができるか。〈課題提出〉  読　魯迅と藤野先生を描いた太宰治の『惜別』を読んで、この作品と比べて理解することができるか。〈プリント〉  知　語句の意味・用法を理解しているか。〈プリント・小テスト〉／魯迅の置かれた状況について様々な資料を集め、作品の背景を簡単にまとめてみる。〈授業時の活動・プリント〉／魯迅とその作品に関して理解しているか。〈発問・課題提出〉 | 授業態度・ノート・グループ内発表・クラス内発表・定期考査 |